

<http://npo-icas.com/>

★★

巻頭言 勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「資産運動の時代」

★★

「貯蓄から資産運用へ」は、まだ抵抗があるスローガンです。「資産運用」という響きは素人には馴染みにくく、少し柔らかく「資産形成」としても近寄り難いのは一緒です。私はこの資産運用を資産運動と身近に捉え直し、人生をより健康で過ごすための「資産運動3点セット」の1つとしてアドバイスしています。つまり、頭の運動、身体の運動、お金の運動です。

「運動」という響きは前向きで、クイズなどの「脳トレ」やスクワットなどの「筋トレ」は、大切な資産である頭と身体の運動として多くの方が日常生活に取り入れています。ところがお金という資産になると、その多くが殆ど金利の付かない口座に引き籠っています。運動不足で不健康も良いところですね。

「運動」の英語は ” Exercise” と言い、元々は「家畜を小屋から外に出して働かせる」という意味でした。今こそ私たちは、「貯蓄（お金）」も「外に出して働かせる」資産運動の時代に入っています。

インドには、2桁の掛け算を小学生でもすぐに計算できるほど、その多様性を背景に頭の運動環境は整っています。そこにAI分野でのリスキリングが加わり、インドの頭脳は更に運動量を増やし競争力を高めて行きそうです。

身体の運動では、コロナの影響もありインドではゴルフブームが起きる気配です。中間層以上を中心に、ゴルフはその解放感と一人のできる唯一のスポーツとして、大きな需要がありそうです。もし2036年のオリンピック開催国がインドに決まれば、ますますインド人の身体の運動量も増えるでしょう。

そしてお金の運動では、個人のお金がSIPという積立投資口座に流入しています。その投資対象のほとんどはインド株の投資信託で、口座数は1億を超えました。ついこの前まで銀行口座さえ無かったインドの個人が、SIP口座でインド株投信に長期投資をしています。これは大変賢いお金の運動ですね。

円程度であり、上方修正された利益が 2550 円程度まで上がれば PER16 倍として 41,000 円程度は春先に達成してもおかしくはない。ただトランプ政権による「トランプリスク」が米国以外の株式市場を押さえつけ、日本は政治的な停滞もありそうである。日銀による金利引き上げは 3 月までは可能性が低い、ゴールデンウィーク以降は、円高警戒が強まり、企業は保守的な会社予想となりそうだ。春先までの期待と裏腹にジリジリと動きが想定される。

ただ、24 年後半から 1 年に及ぶ保ち合い相場が続くとなれば、停滞局面の脱出後はエネルギーの蓄積により、本格上昇相場入りしてもおかしくはない。確たる根拠があるわけではないが、世界的にみれば日本企業のファンダメンタルの評価は低すぎる。このエネルギーの蓄積というのは、個人投資家の NISA による株式市場への参入である。積み立て NISA による効果が出てもおかしくはない。投資対象は個人の NISA で積み立てられている銘柄のランキングに現れてくるはずである。一方不安視されているトランプ大統領の政策により好影響・悪影響を受ける業種・企業も明確となり、先行きに安心感が広がるであろう。膠着状態であるウクライナとロシアの戦争も集結し、新たに復興需要が起きることが十分考えられる。日本からも今年の春には 30 社程度がウクライナ訪問をし、復興に向けての動きが見えだしている。2025 年のトランプ氏の大統領就任以降には、ウクライナとロシアの停戦に向けての動きが加速することになる。全体相場が停滞していても、株価が大きく動く銘柄はある。東証プライム市場の 2024 年のスターは 9 割上昇のフジクラでデータセンターがテーマとなったことによる。今年はウクライナ復興期待相場に期待したい。トランプ大統領が就任する 1 月 20 日以降の中で起きることの中にウクライナ戦争終結問題がある。今年春日本企業 30 社超がウクライナ復興に絡みウクライナを訪問している。この復興需要は 10 年間で 4860 億ドル（約 72 兆 9000 億円）と言われている。中心は高速道路や鉄道、街、農地の再建にある。個別銘柄はिकास投資塾で紹介。

【全体主義の危険性】

デマゴグによって民主主義が歪められ、衆愚政に陥るとしたら、その先にあるリスクとして全体主義がある。

「いくらなんでもヒトラーと比べるのは極端」だと批判を受けるかもしれないが、筆者は斎藤氏・立花氏の一部の熱狂的な支持者たちはヒトラーに全権委任法を可決させた大衆同様の「思考停止」をしていたように思う。

かつて、ナチス・ドイツが台頭した背景にも、「ユダヤ人が世界支配している」という陰謀論が出回り、「ユダヤ既得権益を排除せよ」という風潮があった。金融業界にユダヤ人が多いのは事実だが、人を惑わすためには真実の中に一部の嘘を入れれば良い、というのは良くいわれることだ。

全体主義をつくるのは一人の独裁者ではなく、一人ひとりの人間だ。

ナチス・ドイツについて研究した哲学者ハンナ・アーレントは「アイヒマン（ゲシュタポのユダヤ人移送局長官）裁判」裁判を取材して驚いた。「アイヒマンは与えられた命令を淡々とこなす陳腐な小役人だった」で、「自分の行いの是非について全く考慮しない徹底した無思想性があった」そうだ。

この事実によりアーレントは考えた。

『全体主義』は、外側にある脅威ではないということです。どこにでもいる平凡な大衆たちが全体主義を支えました。私たちは、複雑極まりない世界にレッテル貼りをして、敵と味方に明確に分割し、自分自身を高揚させるようなわかりやすい世界観に、たやすくとりこまれてしまいがちです。そして、アイヒマンのように、何の罪の意識をもつこともなく恐るべき犯罪に手をそめていく可能性を、誰もがもっています。『全体主義の芽』は、私たち一人ひとりの内側に潜んでいるのです」

陰謀論のような「分かりやすい善悪の物語」は、脳が複雑な是々非々の状況を考えずとも楽に辻褄があう。現場に見聞して学ぶことをせずに、Xのリツイートボタンひとつで「正義の行い」をした気分になり、それは日々、虚無や孤独を感じる者に安堵感を与えることもあるだろう。

そして、善悪二元論により、仮想敵をつくることで、人々は団結する。そうになると、何が真実で何が嘘なのか追求するより、その集団の考えに同調する方が気楽になるのだろう。

アーレントによると、「人は嫌いな人が話す真実より、好きな人が話す嘘を選ぶ」という。

2025年01月以降イカススケジュール

- 01月08日(水): 15:00~花咲投資クラブ (A)
01月09日(木): 13:30~御苑貴族投資クラブ (A)
01月15日(水): 15:00~「株のお姉さん雨宮京子」株式投資塾 (D)
01月18日(土): 15:00~スペリオール投資クラブ (B)
01月23日(木): 15:00~東京3Eクラブ (A)
01月28日(火): 18:30~ムッシュのサロン・ド・株式 (C)
02月05日(水): 15:00~花咲投資クラブ (A)
02月06日(木): 13:30~御苑貴族投資クラブ (A)
02月19日(水): 15:00~「株のお姉さん雨宮京子」株式投資塾 (D)

★イカスの参加費は2025年から3500円、(C)(D)は4000円

投資クラブは2025年より年42000円となります。

振込先: 三菱UFJ新宿中央支店普通3513550、特定非営利活動法人イカス

第28回カラオケ会: 25年1月17日(金): 18:00~21:00

参加費は7500円、ノンアルコール7000円、倶楽部エル

2025年1月25日(土)9時45分「三宅あみの大江戸散歩」日本橋七福神

2025年1月30日(木)15時~17時: 第1回イカス経済金融文化塾 in 萬来舎
(慶応大学南校舎4階、パレスホテル運営)

講師: 山本博幸氏(元帝国大学経済学部教授、社団日仏会館理事)

「これから金融市場で起こりうること？」

2025年2月26日: 第2回イカス経済金融文化塾 in 萬来社

講師: 勝池和夫氏(タタアセットアドバイザー、ICAS常任理事)

「インド経済のトランスオーメーション、より速く、より高く、より強く」

2025年3月25又は26日: 第3回イカス金融文化塾、雨宮京子氏

「春休みマナー教室」

2025年6月6日(金)18時から第44回イカス交流会、外国特派員協会

講師: 村上雅則(日本人メジャーリーガー1号)

歌手: 首代明子(オペラ歌手)ヴェルディ「乾杯」他

10月01日(火)から投資クラブの会場・事務所は変わりました。

事務所: 中央区日本橋室町1-2-6日本橋大栄ビル7階

投資クラブ会場は(A)新宿御苑前中交公ビル604又(B)はニュー

新橋ビル3F昭和ブックカフェ、(C)は萬来舎、(D)は日本橋大栄ビル

info@npo-icas.com <http://www.npo-icas.com>